

故高井一郎先生の思い出

意匠学会の元副会長でもある、京都市立芸術大学の名誉教授高井一郎先生が平成24年10月17日お亡くなりになりました。

高井先生の思い出といいますと、一番に思い出するのが信州蘆原の山荘です。昭和50年の夏、高井先生と私を含めた学生2名計3名で山荘の地へ出発しました。先生の運転されるコロナハードトップで未だ中央高走道路が全面開通していない時代、最後は一般道を走り木曾の地に向かったのです。そこは村営の別荘地で大きな杉の木が茂った場所と記憶しております。もちろん山荘の陰も形も無い場所に先生が杭を打ち山荘の場所を設定し、基礎づくりから始めました。溝を掘り型枠の様なものを組上げてコンクリートを流し簡単な基礎を作り上げるまでがその時の仕事です。2泊3日の旅は学生の私にとっては、信州旅行の様な楽しいもので、その後この山荘が長年にわたって先生の教え子達の夏の研修・合宿場所になるなんて思いもありませんでした。それからの数年は、先生が休みの時に訪れては作業を行い、ある程度完成の後には、学生が夏合宿に訪れる度に増築や改修が行われていたと思います。プロダクトデザインの毎夏の研修に企業訪問・見学を行っていましたが、特に中部地域の企業訪問の最後は必ずこの高井山荘(いつの頃からかそう呼んでおりました)を訪れていたのです。私は、基礎を手伝った翌年に就職し山荘の完成姿を見る機会は無かったのですが、会社を6年で退社し大学院にお世話になった夏に完成した山荘と初めて対面することができました。先生が地元のスーパーで食品を調達し、

学生達が手分けをして調理し大宴会が繰り広げられるという事が恒例となっており、最後は意味不明(演歌?)の歌の大合唱で締めくくられておりました。このように企業訪問は、いつも先生が自らマイクロバスを運転し数社の企業を見学した後、最終地高井山荘ですぐすというものでした。そしてこの夏の行事は、高井先生が定年退任されるまで続いたのです。自ら山荘を建て、自ら車を運転し学生を連れて研修旅行に出かけ、また退任後は6年間ほど数カ国の大学で教育・研究を行いながらヨーロッパ各地を訪れ生活するという、素晴らしいバイタリティーと行動力を持たれた高井先生、デザイナーとしての生き方はもとより、人としての生き方を示しお教え頂きました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

平成25年1月 京都市立芸術大学 小山格平

一般会務報告

平成24年度 第2回役員会 議事録

日時：平成24年7月21日(土) 12時15分～
場所：京都工芸繊維大学 60周年記念館セミナー室

出席者：伊原久裕、伊集院敬行、今井美樹、大森正夫、面矢慎介、佐藤敬二、佐藤博一、関哲洋、多田羅景太、谷本尚子、塚田耕一、常見美紀子、永井隆則、並木誠士、藤田治彦、森仁史、三木順子、藪亨、山口良臣、横川公子、吉村典子、渡邊眞 (50音順、敬称略)

〔審議事項〕

- 議題 1. 前回議事録の承認
一部修正の上、承認された。
- 議題 2. 総会資料について

・総会資料の確認(「役員選出規定第1条2改正案」の資料を含む)を行い、承認された。

議題 3. 9月例会について

会場：成安造形大学

日時：9月29日(土)

発表候補：論文投稿者から候補を探してみたい。(論文投稿は、発表を経てからという規定とする議案を次回役員会で検討する。)

議題 4. 11月例会について

会場：京都造形芸術大学

日時：11月17日(土)

発表候補者：

柳橋達郎(京都工芸繊維大学)

「滋賀県における琵琶湖モチーフデザインによるブランディングの意義」

・京都造形芸術大学より一人候補が有った。

議題 5. 2月例会について

会場候補：武庫川女子大学

日時：2月2日または16日(土)

発表候補者：未定

議題 6. 入退会者について

承認された。

議題 7. その他

・デザイン史フォーラムは、意匠学会国際交流推進部門とする。

1)『Design Discourse』を『デザイン理論』の巻末に組み込むことになった。投稿が無い場合には、掲載しない。

2)英語による発表と投稿を部門活動とする。

3)来年度から意匠学会の大会において、2枠の英語による発表を企画する。会員による発表に限る。

4)ICDHS等のデザイン関係国際会議での発表の準備となるワークショップとしてデザイン史分科会を活性化したい。

[報告事項]

1. 各種委員会報告

・広報委員会：新しいホームページはすでにアップ済みで、大会終了後完全移行。

・編集委員会：前回議事録の発表者の所属表記については、61号から実施する。60

号は7月31日発行予定。

・学会賞委員会：論文賞の審査内容が説明された。意匠学会賞の推薦理由書の扱いを次回の議題にあげるようになった。

2. 名簿改訂について

昨年度中に発行の予定が4月に伸びたが、発行されたことが報告された。

3. 芸術学関連学会連合シンポジウムについて

・仙台のシンポジウムで、吉村典子会員が発表したことが報告された。

・会計監査の変更が告げられた。

平成24年度 第3回役員会 議事録

日時：平成24年9月29日(土) 12時30分～

場所：成安造形大学 聚英館2階小会議室

出席者：伊集院敬行、面矢慎介、佐藤博一、多田羅景太、谷本尚子、並木誠士、廣田孝、藤田治彦、藪亨、横川公子、山口良臣、渡邊眞 (50音順、敬称略)

[審議事項]

議題 1. 前回議事録の承認および総会議事録の承認

一部修正の上、承認された。

議題 2. 11月例会について

会場：京都造形芸術大学

日時：11月24日(土) 13:00から

発表候補者：

柳橋達郎(京都工芸繊維大学)

「滋賀県における琵琶湖モチーフデザインによるブランディングの意義」

上田 文(京都工芸繊維大学)

「土田麥僊の人物画について—肖像性と象徴性をめぐる考察—」

成実弘至(京都造形芸術大学)

「ファッションにおけるサステナブル・デザイン」

議題 3. 2月例会について

会場：武庫川女子大学

日時：2月16日(土)

発表候補者：未定

議題 4. 5月例会について

会場：京都女子大学

日時：未定

議題 5. 第55回大会開催校について

- ・福井工業大学に決定された。
- 大会担当：川島洋一会員に連絡。役員会から大会を補佐するメンバーを用意することが確認された。

議題 6. 意匠学会賞の推薦方法について

- ・別紙資料に基づき、意匠学会賞の趣旨、選考方法について検討された。
- ・今後、募集の具体的な呼びかけ方法を検討していくことになった。

議題 7. 投稿論文に関する規定について

『デザイン理論』への論文投稿は、入会の次年度以降とする案が出された。今後の検討課題となった。

議題 8. 国際交流推進部門からの提案について

別紙資料に基づき、「1.大会での英文発表2枠に応募できる者は原則として本学会員(大会開催時期までに入会が役員会で認められている者)とする。2.発表は質疑応答も含めて英語で行う。内容や発表時間に関しては、他の日本語による発表に準ずる。3.応募も日本語による通常の発表に準じ、ウェブから応募用紙をダウンロードし、締切までに学会本部事務局まで送付する(概要も英語とする)。4.役員会で審査のうえ、他の研究発表者と同じ方法で、発表の可否を応募者に連絡する。」が承認された。発表者が2枠を超える場合は、デザイン史分科会での発表を考える。

議題 9. 入退会希望者の承認(2012年度会員状況の確認)

承認された。

議題 10. その他

- ・民族博物館のワークショップに関して、HPでの広報が承認された。
- ・第5回国際デザイン学会連合国際会議(IASDR 2013)について、意匠学会は協賛ないし協力とする方針が出された。

〔報告事項〕

1. 第54回意匠学会大会収支報告
2. 各種委員会報告

会員消息

・訃報

元会員吉岡敏夫様(大阪芸術大学教授)が平成24年2月27日にご逝去されました。

元会長上平貢様(京都工芸繊維大学名誉教授)が平成24年9月30日にご逝去されました。

元副会長高井一郎様(京都市立芸術大学名誉教授)が平成24年10月17日にご逝去されました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

会報担当連絡先

〒670-0092 姫路市新在家本町1-1-12

兵庫県立大学環境人間学部

メディアデザイン研究室 関 哲洋 宛

e-mail: seki@shse.u-hyogo.ac.jp

TEL. 079-292-9332 (研究室直通)

FAX. 079-293-5710 (総務課)